



ゆうきだより

ゆうき訪問看護ステーション
ゆうきホームヘルプステーション

Vo.23 冬号

2026年1月 発行

発行担当 広報係
守谷 甲斐 天野

はじめに

新年明けましておめでとうございます。旧年中は、訪問看護をご利用いただき、ありがとうございました。日々関わらせていただく中で、私たちスタッフ一同、多くの学びと励ましをいただきました。心より感謝申し上げます。

昨年10月にホームヘルプステーションが開業となり、新たなスタッフを迎え、より一層充実した体制となりました。今後もスタッフ間での連携を大切にしながら、一人ひとりに寄り添った支援をこころがけてまいります。本年もチーム一丸となり、ご利用様、ご家族様が安心して住み慣れた地域での生活が続けられるように、また信頼される訪問看護・訪問介護となりますよう、ご支援させていただきます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

(所長：小林 友美)

御挨拶

平成9年12月に開設以来、荒川ホームヘルプステーションとして運営してまいりましたが、昨年10月1日より「ゆうきホームヘルプステーション」と名称を改め、ゆうき訪問看護ステーション内に移動してまいりました。

職員全員が介護福祉士の資格を持ち、より専門的な立場から、ご利用者のみなさんが在宅生活を安心して送れるように支援させていただきます。

これからも、「誠実」で「丁寧」な対応を心がけてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

ゆうきホームヘルプステーション

所長：土屋 いづみ



新しい職員の紹介

看護師 ^{ごみょう}五明 ^{きよみ}紀代美

令和7年10月にゆうき訪問看護ステーションに異動になりました。少しずつ環境に慣れながら訪問看護を続けていきたいと思っています。7年前より、アロマピローを作っています。寒い時期は身体を温めたり、リラククス効果もあるため重宝しています。よろしくお願いいたします。





遺族会を開催しました

大切な家族を失ったご遺族が、一人で悲しみを抱え込まず、少しでも心が軽くなったり整理できたりすることを目的とし、10月13日に遺族会を開催しました。大切なご家族を亡くされた方同士での想いの共有、死別に関する絵本の朗読、悲嘆に関するミニレクチャー、ハンドマッサージなどを行いました。



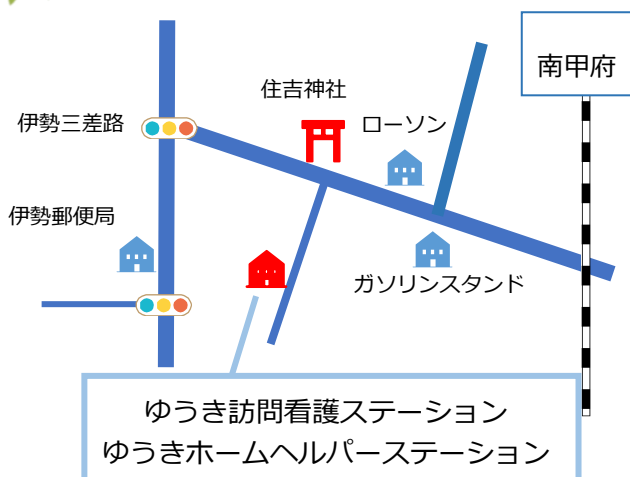
ご参加いただいた方々からは、同じ想いをした方々とのお話で「心が楽になりました。焦ることなく少しずつ前へ進もうと改めて思いました。」「同じ想いを抱えておられる方々とだからお話ができました。聞いて頂けたし、聞くことができました。今日はとても嬉しかったです。」といったご感想をいただきました。また、都合が合わずご参加は難しかった方々からもメッセージをいただき、看護師一同、大変励みとなりました。今後も継続的に開催していきたいと考えています。

看護師特定行為研修を修了しました

山梨大学医学部附属病院において看護師特定行為研修を受講させていただき、昨年春に「創傷管理」と「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」の2区分を無事修了しました。

研修を通して、特定行為という手技に限らず、基本的な病態やフィジカルアセスメント等から、臨床推論による思考過程まで深く学ぶことができ、自分の知識や技術を省みる機会にもなりました。研修で得た学びを地域の皆様に還元できるよう研鑽を続けていきたいと思ひます。

(守谷 奈見)



編集後記

新年あけましておめでとうございます。今年も職員一同、地域の皆様が安心して在宅生活を送ることができるよう努めてまいりたいと思ひます。今年もよろしくお願いいたします。

住所：甲府市住吉 1-15-23
電話：055-222-7448（看護）
055-269-7770（ヘルパー）

